

特別会計

- 特別会計は特定の事業目的のために一般会計と区分した会計で、町には6つの特別会計があります。
- ①国民健康保険特別会計

町民の健康保持と増進のため保険給付を行い、医療保障の充実に努めました。
- ②北海道介護福祉学校特別会計

社会情勢などにより入学者は定員数に満たないものの、介護福祉士の求人数は堅調で開校以来35年連続就職率100%を達成しました。
- ③介護保険特別会計

要支援者・要介護者が能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう保険給付を行ったほか、介護予防を推進しました。
- ④後期高齢者医療特別会計

高齢者の健康保持と増進のため、資格管理の窓口事務などを行い、健全な医療給付を進めました。
- ⑤住宅団地造成事業特別会計

分譲中の朝日4丁目住宅団地（第4期）の管理・販売促進を行いました。また、中里住宅団地第1期分譲地の造成工事を実施しました。
- ⑥工業団地造成事業特別会計

分譲中の第4期工業団地の管理・販売促進を行いました。また、第5期工業団地の造成工事を実施しました。

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差 引
①国民健康保険特別会計	13 億 7,787 万円	13 億 6,712 万円	1,075 万円
②北海道介護福祉学校特別会計	1 億 899 万円	1 億 879 万円	20 万円
③介護保険特別会計	13 億 8,293 万円	13 億 1,055 万円	7,238 万円
④後期高齢者医療特別会計	2 億 4,946 万円	2 億 4,942 万円	4 万円
⑤住宅団地造成事業特別会計	7,709 万円	7,017 万円	692 万円
⑥工業団地造成事業特別会計	2 億 9,142 万円	2 億 9,142 万円	0 万円
合 計	34 億 8,776 万円	33 億 9,747 万円	9,029 万円

企業会計

- 水道事業と下水道事業は、企業の経営成績、財政状況を明らかにするため、企業会計方式を採用し、事業に必要な経費は、経営に伴う収入（上・下水道料金）をもって充てるという独立採算制を原則としています。
- ①水道事業会計

水を作り、家庭などに届けるための経費（収益的収支）では、差引約2億7259万円の黒字となりましたが、浄水場の設備更新や配水管の整備などの経費（資本的収支）では約1億4690万円の不足となりました。
- ②下水道事業会計

下水道管や下水道管理センターの維持管理に必要な経費（収益的収支）では、差引約8436万円の黒字となりましたが、下水道管理センターの設備更新などの経費（資本的収支）では約2億7725万円の不足となりました。
-
- | ②下水道事業会計 | |
|----------|----------------|
| 収益的収支 | 決算額 |
| 収入額 | 6 億 6,450 万円 |
| 支出額 | 5 億 8,014 万円 |
| 差引 | 8,436 万円 |
| 資本的収支 | 決算額 |
| 収入額 | 3 億 3,499 万円 |
| 支出額 | 6 億 1,224 万円 |
| 差引 | △ 2 億 7,725 万円 |
- | ①水道事業会計 | |
|---------|----------------|
| 収益的収支 | 決算額 |
| 収入額 | 6 億 1,368 万円 |
| 支出額 | 3 億 4,109 万円 |
| 差引 | 2 億 7,259 万円 |
| 資本的収支 | 決算額 |
| 収入額 | 1 億 6,532 万円 |
| 支出額 | 3 億 1,222 万円 |
| 差引 | △ 1 億 4,690 万円 |
- 令和5年度
- 決算報告
- 大切な税金の使い道をお知らせします
令和5年度の一般会計・特別会計・企業会計の決算が9月議会定例会議で認定されましたので、決算の内容と主な事業成果の概要をお知らせします。
- 一般会計の歳入総額は129億4,351万5,800円、歳出総額は126億4,821万6,614円となり、差額の2億9,529万9,186円を次年度に繰り越しました。なお、繰越額の中には、次年度に実施する事業財源3,500万円が含まれているため、実質収支は2億6,029万9,186円となりました。
- 【問い合わせ】経営企画課行政経営グループ ☎73-7503
- 一般会計
- ◆一般会計歳入

歳入は、町債や道支出金の増などにより、前年度比で約20億6966万円の増となりました。

歳入全体の構成は町税や使用料など、町が独自に確保している自主財源の割合が20・5%、地方交付税や国・道からの交付金などの依存財源の割合が79・5%となりました。

項目	金額
町税	129,760
・町民税	55,961
・固定資産税	54,536
・町たばこ税	10,474
・都市計画税	5,017
・軽自動車税	3,620
・入湯税	152
その他交付金	16,879
・地方譲与税	11,032
・法人事業税交付金	2,215
・環境性能割交付金	999
・ゴルフ場利用税交付金	848
・地方特例交付金	820
・株式等譲渡所得割交付金	430
・配当割交付金	372
・交通安全対策特別交付金	123
・利子割交付金	40
緑越金	32,634
諸収入	20,648
その他	82,214
・寄附金	28,702
・使用料および手数料	23,150
・繰入金	19,714
・分担金および負担金	7,602
・財産収入	3,046
自主財源 (20.5%)	
道支出金	101,325
国庫支出金	144,947
地方消費税交付金	30,111
地方交付税	389,722
町債	346,112
依存財源 (79.5%)	
歳入決算	129億4,352万円
- ◆一般会計歳出

歳出は、前年度比で約21億71万円の増となりました。増減が大きい費目としては、衛生費が約20億9040万円の増、総務費が約2億3343万円の減となりました。

歳出全体の構成は、衛生費が最も多く、次に総務費、民生費となっています。

項目	金額
衛生費	305,032
総務費	262,648
民生費	208,709
土木費	137,320
公債費	110,500
農林水産業費	73,427
教育費	93,890
消防費	36,493
商工費	25,565
議会費	6,016
諸支出金	2,215
災害復旧費	2,214
労働費	793
歳出決算	126億4,822万円

※単位：万円
(万円単位にそろえているため端数が合わない場合あり)
- 差引額 約2億9,530万円
- 9 広報くりやま 2024.10
- 2024.10 広報くりやま 8

町債残高の推移（全会計）

町債（町の借入金）には、毎年の財源負担を平均化する役割と、現在と将来の町民負担を公平にする役割があり、町では財政状況を悪化させないよう、栗山町第7次総合計画や行財政改革推進計画などに基づき、計画的な借り入れを行っています。

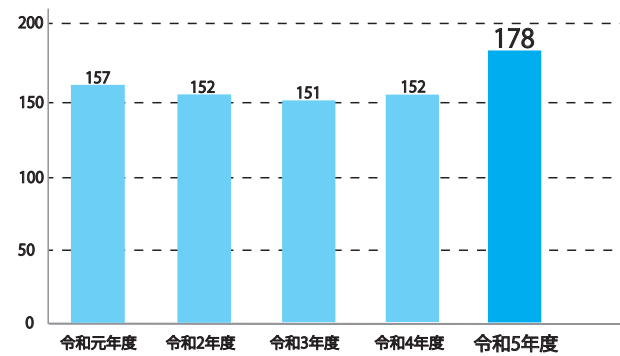
町債の年度末残高は、全会計分で約178億3840万円となり、栗山赤十字病院改築等事業に係る町債の借入等により前年度比で約26億2988万円の増となりました。

基金残高の推移（一般会計）

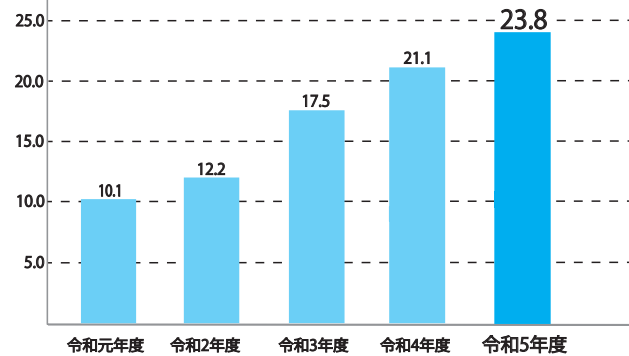
安定した財政運営を進めるための貴重な財源として、決算に伴う余剰金の一部や、寄附金などを原資として積み立てた基金の年度末残高は、一般会計分で約23億7923万円になり、前年度比で約2億6943万円の増となりました。

なお、令和5年度における取崩額は約1億9773万円、積立額は約4億6643万円です。

単位：億円



単位：億円



指標 (%)	指標の説明	比率 (R5 決算)	全道平均 (R4 決算)	早期健全 化基準	財政再生 基準
実質公債費比率	一般会計が負担する元利償還金などの標準財政規模に対する比率	6.4	7.0	25.0	35.0
将来負担比率	一般会計が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率	32.5	18.8	350.0	

この指標のほかにも「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「資本不足比率」の指標がありますが、全ての会計が黒字決算で比率が生じていないため省略しています。
※標準財政規模とは、標準税収入額などに普通交付税を加算した額です。

「財政健全化法」とは、財政の健全性を示す左記の指標を導入し、再建の枠組みを定めた法律です。実質公債費比率の状況は全道平均を下回っておりませんが、引き続き、将来世代に大きな負担を残すことのない財政運営に努めていく必要があります。

財政健全化法に基づく
健全化判断比率などの状況

閲覧用
グラフと写真でみる
まちの決算と
財政状況
北海道栗山町

◆役場新庁舎1階ロビー
◆カルチャープラザ「Eki」
◆総合福祉センター「しゃるる」
◆改善センター
◆南部公民館
◆図書館

QRコード
ホームページはこちら

今月号に掲載した決算概要のほか、栗山町第7次総合計画に基づき令和5年度に実施した主要施策の成果、まちの財政状況など、より具体的な決算内容をまとめた冊子「グラフと写真でみる、まちの決算と財政状況」を作成しました。

冊子は、左記の施設窓口に配置しているほか、町ホームページでも掲載していますので、ぜひご覧ください。

詳しい情報は
別冊資料をご覧ください

令和5年度事業実施結果の一部を紹介 - 栗山町第7次総合計画の主要施策より

計画事業 2
ごみ処理施設見学会の実施
ごみの正しい知識の普及啓発と協力体制づくりを推進します。



計画事業 34
食育事業等を通じて子どもたちに食についての正しい知識や理解を深めます。



計画事業 54
生涯スポーツを推進します。



くりやまハーフマラソンの様子

計画事業 81
ケアラー支援の充実を図ります。



ケアラー支援学習会の実施

計画事業 93
スマート農業を推進します。



ドローンや自動操縦農機導入への支援

計画事業 105
地域資源を磨き上げ観光・交流による地域経済活性化を推進します。



栗山秋まつりの様子

計画事業 119
公営住宅の整備・改修を実施します。



新築した継立西団地

計画事業 136
ふるさと納税制度の効果的な運用を図ります。



町外PR活動の様子

※栗山町第7次総合計画に掲載されている計画事業番号、事業名（略称）、決算額および計画事業に関連した写真を掲載しています。